



# 苧木だより

No.7  
2012.9

## ■オーガニック・コットン栽培 ③

苧木の休耕田を活用して、戦前まで有明海沿岸で栽培されていた和綿を栽培するプロジェクトが進行中です。

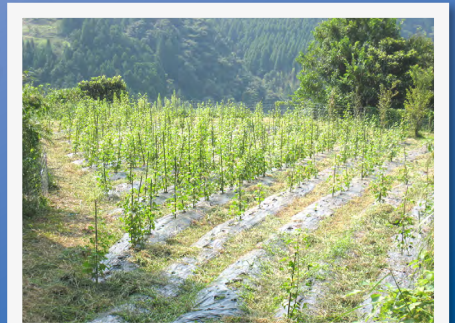
9月2日（日）には3回目の草刈りがおこなわれ、その後の苧玉づくり体験では、皆さん初めてとあって、盛り上がりました。



9月2日  草刈り



残暑厳しいこの日は、16名の参加者が9時に公民館に集合し畑へ向かい、慣れた手つきで黙々と雑草を刈りだしました。和綿の背丈のあるもので2m位に成長していて、可憐な花（黄色とピンク）を初めて見る事ができました。今回の作業では和綿を支えるための支柱を埋め込む予定でしたが、先日の台風の影響で茎が傾いたので、急遽地元の方が先に作業されていて、数か所の支柱埋め込みと草刈りの作業となりました。



休憩時には、前回頂いたビワの木の真横になっていた柚子の爽やかな香りを楽しみました。休憩後は上の畑も草を刈って予定より早く終わり、畑もすっきりとした表情に変わりました。収穫が楽しみです。

お昼にはまだ少し時間があるので、自治会長さんによる苔玉づくり体験がおこなわれました。地元で用意されたモミジ、ヤブラン、シダ類などその他多くの草木で苔玉づくりに挑戦しました。



自治会長さんによるレクチャー



たくさんある苗の中から好みのものを選ぶ



出来上がった苔玉たち！

ちいさな苗から植えたオーガニックコットンが、花を咲かせるまでに成長した姿に感動でした。苔玉づくりでは、15分ほどで作ることができるが、でも実際は主役のハイゴケを地元で探すのが大変そうです。(HS)

ヒルメシ



お昼は、いつも地元女性人による手作りの“ちやのき御膳”を頂く。採れたてのトウモロコシが新鮮で美味かった。

### ～苔玉の作り方～

#### ●材料

##### (1) 苔玉の土

- ①ケト土：水苔、ヨシなど長い間、堆積、腐食、分解した泥炭化土（30%）
  - ②赤玉：通気性、水はけ、水持ちを良くする。赤玉極小粒（30%）
  - ③富士砂：水はけをよくするもの（30%）
  - ④粒炭：木炭をつぶし、洗い小粒状のものを取り出す（10%）
- ※上記を混ぜて練る（ブレンドの種類、比率など色々試して良い）

##### (2) 苔（ハイゴケ）

##### (3) 木綿糸（ミシン糸でも可）

##### (4) 植える苗（草、木など1～3種類）

#### ●苔玉の作り方

- (1) 植えたい苗1～3種類を苔玉の土で適当な大きさに丸く包み込み固める
- (2) 苔玉をハイゴケでムラなく包み、木綿糸で等間隔に巻き、表面をハサミで切り揃える
- (3) 竹器、陶器などに乗せる（出来上がり）

#### ●苔玉の手入れ

##### (1) 水やり

- ①たっぷり苔玉全体を水に沈める（どぶ浸け）
- ②水を張った受け皿の上に置き吸水させる（腰水）
- ③苔に霧吹きで水をかける

##### (2) 置き場

- ①明るい風通しの良い場所（戸外）で管理する。明るい日陰が理想的
- ②室内の場合、日光と乾燥を好む植物は明るい窓辺で水を少なめに
- ③明るい日陰で育つ観葉植物は、室内でも良い

次回の作業予定は、**10月21日（日）**です。

いよいよ収穫と、収穫したオーガニックコットンでクリスマスリースを作る予定です。

